

## 新年のご挨拶

一般社団法人群馬労働基準協会連合会  
会長 町田 錦一郎



明けましておめでとうございます。

平成最後の新年となりましたが、皆様におかれましては、2019年の新春を健やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、去年は国内外で様々な出来事がありました。

何と言っても、6月の初の米朝首脳会談は世界中が固唾を呑んで最も注目した歴史的出来事でありました。一触即発の緊張関係が溶けることに誰もが期待を寄せました。ただ、その後の状況は不透明であり、必ずしも核への不安は解消しておらず不安が残ります。世界中で、暑さ・台風・雨・地震が猛威を振るい、自然災害による犠牲者が数多く出たところで、どちらかと言うと暗いニュースが目立つ1年だったように思います。

群馬県内では、有効求人倍率は依然高い水準で推移しており、雇用情勢は好調さを保っておりますが、その一方で、少子高齢化が加速し、人手不足は一層深刻化しています。また、年間総実労働時間数は全国平均を上回っており、長時間労働の問題など労働を巡る申告・相談件数、さらには脳・心臓疾患、精神疾患の労災申請・認定件数は高止まり状態または増加傾向にあるとさえ言われています。また、近年、労働災害の減少傾向には陰りが出ております。国が策定の第13次労働災害防止5ヶ年計画の初年度でありましたが、死傷件数は前年比で増加傾向を辿るなど、大変憂慮すべき事態が続いております。

ご案内のとおり、昨今、「働き方改革」、「健康経営」が叫ばれています。

このような厳しい情勢の下ではありますが、地域の期待と信頼に応えるべく、経営トップは各課題に率先して向き合い、良好な労使関係の構築と安心・安全な職場づくりに真剣に取り組む必要があると考えます。

当連合会は、本年におきましても、引き続き、群馬労働局はじめ関係する行政機関・団体と連携し、労働災害防止をはじめとした各種事業について一層の充実を図り、積極的に展開して参りたいと考えております。旧年に倍しましてのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のこの1年のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。